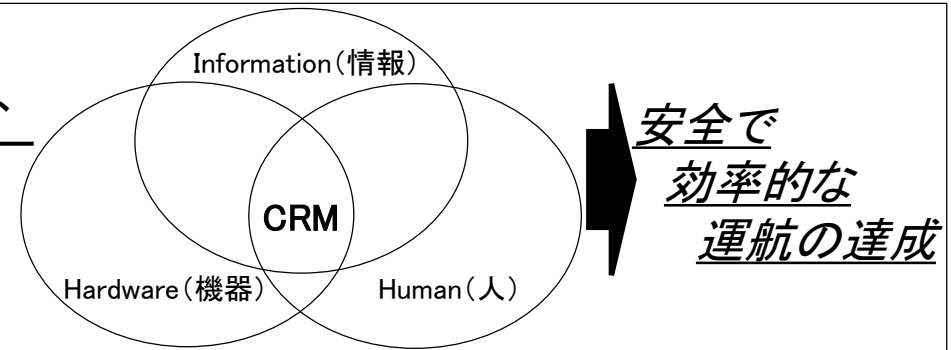


CRMとは

安全で効率的な運航を達成するために、すべての利用可能な人的リソース（航空機乗組員、客室乗務員、運航管理者、整備士、航空管制官等）、ハードウェア及び情報を効果的に活用するための訓練をいう。
（運航規程審査要領細則より）



CRMの推移

- 1970年代 航空技術の飛躍的な発達により、航空機事故は大幅に減少
以後、航空事故は、ほぼ横ばいで推移
- 1979年 NASAが開催のワークショップで、「コックピットにおけるリソース・マネジメント」と題した発表を実施
- 1988年 IATA調査結果により、航空事故の80%が、人間の行動とパフォーマンスに起因しており、個々の知識・技量に関係なく、乗員間のコーディネーションに問題があることが判明
- 1998年 航空局が「航空機乗務員に対するCRM訓練の実施について」（運航課長通達平成10年6月22日付）を発出（適用開始：平成12年（2000年）4月1日）
⇒ 日本におけるCRM訓練の義務化

研修の一例

- 日本航空機操縦士協会
TEM/CRMセミナー（年3回開催：東京及び大阪）
- ANAビジネスソリューションズ
ヒューマンエラー対策研修（講師派遣型、公開講座型）

